

第五十九回帝國議會 衆議院

刑事補償法案委員會會議錄(速記)第六回

付託議案 刑事補償法案(政府提出)

會議

昭和六年二月十四日(土曜日)午前十一時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 横山金太郎君

理事 服部 英明君

理事 松井 郡治君

理事 篠原 陸朗君

小侯 政一君 一松 定吉君

關口 志行君 斯波 貞吉君

春島東四郎君 岡田 春夫君

牧野 良三君 上田 孝吉君

出席政府委員左ノ如シ

司法參與官 井本 常作君

司法省刑事局長 泉二 新熊君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

刑事補償法案(政府提出)

○横山委員長 昨日ニ引續イテ委員會ヲ開キマス

○上田委員 私ハ先日來ノ小野寺君ナリ、或ハ小侯君ナリノ質疑ニ依ッテ、大體本案ノ根本觀念ノ點ハ分ッテ來タノデアリマスガ、モウ少シ政府委員カラ此刑事補償法ガ所謂國家賠償法ノ一ツノ前提ダト云フコトヲハッキリ言明シテ戴キタイト思フノデアリマス、ソレハ司法大臣カラモ色々御説明ガアリマ

シタガ、併ナガラ是ハ所謂國家保護ノヤウナモノデアルカラ、國家賠償法、無過失賠償ノ前提ト云フコトハ出來ナイ、唯サウ云フコトモ多少加味シテ居ルト云フ程度ヨリ以外ニ御言明ノ範圍ガ越エテ居ナイノデアリマス、尤モ目下ノ財政ノ状態カラ色々ノ御都合モアリマセウガ、吾々ハ今直グ多クヲ要求スルノモ、餘リ無理ナ點ガアルト思ヒマスケレドモ、尠クトモ刑事補償法ガ國家賠償法ノ前提デアルト云フヤウニ、一ツ當局者ノ方デ御認メ下サル御意思ハナイカドウカト云フコトヲ先ヅ御伺ヒ致シタイ

ト思ヒマス、既ニ政府當局ニ於テモ御存ジノコトデアルト思ヒマスガ、其慰藉ノ方法トシテ、所謂法ノ涙トデモ申シマスカ、國家ノ涙トシテ、一日五圓以內ト云フコトヲ御設ケニナルノダト思フガ、ソレナラバ尙ホ私ハ此公告ノ方法ヲ何故御採用ニナッテ居ナイカト云フコトヲ聽キタイノデアリマス、ソレデ前同ノ時ニモ泉二政府委員カラ御話ガアリマシタ通りニ、財産ノ場合ニ於テハ、今日既ニ我國ノ刑事訴訟法ニ於テモ公告ノコトガ認メラレテ居ルノデアリマス、ソレカラ茲ニ參考書ヲ戴イテ居リマスガ、此諸外國ノ立法例ヲ見マシテモ、匈牙利デアルトカ、或ハ其他獨逸デアルトカ云フヤウナ所ニハ、ヤハリ公告ノ點ヲ認メテ居リマシテ、最モ進歩シタ所デハ、其賠償ヲ求メル者ノ希望ニ依ッテ、有力ナ五大新聞トカ、六大新聞ノ選定ヲ許シテ、サウシテソレニ公告スルト云フヤウナコトノ實例スラ諸外國ニハアルノデアリマス、又我國ニ於テモ既ニ刑事ノミナラズ、民事ニ於キマシテモ、常ニ此公告ヲ利用シテ居ルノデアリマスカラ、費用ノ點モアリマセウケレドモ是ハ又公告ノ點ニ於テ出來ルダケ大キイ公告ノ

出來ルコト又多數ノ新聞ニ公告サレルコトハ適當ナ事デアリマスガ、併ナガラソレハ費用上出來ナイモノト致シマシテモ、從來財産ノ場合ニ於テ御ヤリノ、例ヘバ民事ノ破産其他ノ場合ニ御ヤリニナッテ居ル程度ノ公告デアルナラバ、ソレナニ多額ノ費用ヲ要スルモ考ヘテ見マスナラバ一日五圓以內ノ補償金ヲ受ケル事ヨリモ、公告ニ依ッテ一般ニ知ラレルト云フコトデ、二階カラ目藥ノヤウナ僅カナ金ヲ受ケルヨリモ満足スル場合ガ多クアルト思ヒマス、ニモ拘ラズ此點ニ對シテ何等ノ御考慮ニナッテ居ラズシテ、唯一日五圓以內ノ補償金ヲ給與スルト云フコトハ非常ニ不適當ナヤウニ考ヘマスガ、之ニ對シテドウ云フ御考ヲ御持チニナッテ居リマスカト云フコトヲ御聽キシタイ

ソレカラ次ニ第十條ノ點ニ於テ「補償給與ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ檢事ノ意見ヲ聽キ申立ニ付決定ヲ爲スベシ」ト斯ウアル、一應穩當ナ方法トシテ斯ウ云フ場合ニ、檢事ノ意見ヲ聽クト云フコトモ然ルベキコトデアルカモ知レマセウケレドモ、例ヘバ從來ノ保障ト云フヤウナ例ヲ考ヘテ見マス

ト、檢事ノ意見ヲ聽イタ場合ニハ大抵ハ其被疑者ニ不都合ナ場合ガ多イノデアリマス、檢事ト致シマシテハ出來ルダケ其起訴シタ點ヲ維持シテ行カウト云フ考ヲ持ッテ居ルコトハ當リ前デアリマスカラ、サウ云フ場合ニ於テ裁判所ハ檢事ノ意見ヲ聽カナケレバナラヌト云コトニスルコトハ寧ロ弊害ガ多イノデハナカラウカ、斯ウ云フ場合ニハ寧ロ檢事ノ意見ヲ聽カナイデ決定スルヤウニナサルコトガ、法ノ涙ト云ヒマスカ、慰藉ヲスルト云フ趣旨ニ適フモノデハナイカト思ヒマスガ、其點ニ對スル御意見ヲ承リタイ

○泉二政府委員 御質問ノ第一點ト第二點ハ既ニ度々他ノ方カラモ御問ガアリマシテ御答ヲシテ置イタノデアリマス、又繰返スニ外ナラヌノデアリマスガ、要スルニ、慰藉ト云フ通俗的ナ言葉デ説明シマシタケレドモ法文ノ中ニハ慰藉ト云フ事ハチットモ書イテ居ナイノデアリマス、補償ヲ給與スルト云フコトデアリマス、之ヲ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ賠償ヲ給與スルト言ッテモ少シモ差支ナイト云フコトハ前ニ申上ゲマシタ、唯幾ヲ發展シマシテモ公法上ノ損害賠償ト云フモノト私法上ノ損害賠償ト云フモノハ同ジモノニハ取扱ハナイ、財産上ノ損害ヲ賠償スルト云フ時期ニ到達シマシテモ、ソレハ民法上ノ

損害賠償トハ別物デアアル、何處マデモ其性質ハ區別サレテ行カナケレバナラヌノデアリマス、ソレデ補償ト云フ言葉ハ私法上ノ損害賠償ト云フ制度ト混同サレナイ爲ニ、補償ト云フ言葉ヲ使ッタニ他ナラヌト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、實際カラ云ヘバ精神上ノ損害賠償ヲスルト云フコトニ係ッテ居リマス、財産上ノ損害賠償ト云フコトニハ今ノ程度デハ至ッテ居ラナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、將來財政ト都合ガ付クヤウニナツタナラバ、財産上ノ損害ヲ賠償スルト云フ程度ニ發展シ得ルモノト考ヘテ居リマス、ガ只今申シタヤウニ、其曉ニ於テモ之ヲ民法上ノ損害賠償ト同一ニ説明スベキモノデハナイ、觀念スベキモノデハナイト云フコトダケハ申上ゲテ置キマス

ソレカラ第二ノ公告ノ點デアリマスガ、是モ前回トナタカノ御質問ニ對シテ御答シテ置キマシタ、兎ニ角現行法規ニ於キマシテ、再審ニ於テ無罪ノ場合ハ總テ公告ヲスルコトニナツテ居リマス、ダカラ此法律ニ依リマシテ補償ヲスルヤウナ場合ニ於キマシテモ、同ジヤウニ再審無罪ニナリマスト云フト公告ヲスルノデアリマスカラ、二重ニヤル必要ハナイ、ソレカラ通常ノ手續ニ於キマシテハ事柄ガモウ新シイ事デアリマスカラ、イツ起訴サレテ、サウ

シテドウ云フ裁判ニナツタト云フコトハ、モウ新聞等デモ能ク分ルコトデアリマスカラ、之ヲ新ニ又公告スルト云フコトノ必要モアルマイ、又比較的ニ費用モ掛ル、決シテ少イモノデハナイヤウデアリマス、大新聞ノ公告ト云フコトニナリマス、大變經費ガ掛ル、ソレ程ノ經費ヲ掛ケテマデ公告ヲスルト云フ必要ハ認メナイ、是モ將來ニ於テハ御希望ニ應ズルヤウナコトニ法律ガ自然ニ改正サレ、發達シテ行クベキモノデアラウトハ思ヒマスケレドモ、此出發點ニ於テハ其處マデハ法案ノ中ニ取入レルコトヲ要シナカッタノデアリマス

第三ニ第十條ノ決定ヲスルノニ檢事ノ意見ヲ聽クト云フコトハ却テ弊害ガアリハシナイカト云フ御所説ノヤウデアリマシタガ、是モ一應御尤モノ御考デアルト思ヒマス、併シ一面カラハ寧ロ是ハ決定ニシナイデ判決ニシタ方ガ宜イデハナイカト云フ要求ガアル位デアリマス、判決ニスルト云フコトニナリマス、裁判所ノ組織トシテ當然ニ檢事ガ立會ハナケレバナラヌ譯デアリマス、ガ此間モ申上ゲマシタヤウニ、必シモ判決ト云フ手續ニ之ヲスルホドデモナカラウ、必要ガアレバ公判ヲ開イテ直接ニ取調ヲシテ、ソレカラ決定スルト云フコトガ決定ノ手續トシテ出

來ルンデアアル、先ヅ簡單ナ手續デ宜カラウト云フコトニナツタノデアリマス、サウナレバ公判ヲ必シモ開クト云フコトニ限ッテハ居ナイケレドモ、公判ヲ開クト云フヤウナ場合モアルシ、自然檢事ノ立會ヲ要求スルト云フコトガ必要デアルシ、兎ニ角一應ハ檢事ノ意見ヲ聽クト云フコトガ適當デアアル、是ハ此裁判ガ檢事ノ意見ニ依ッテ左右サレルヤウナコトハ大體ナカラウト思ッテ居リマス

〔委員長退席服部理事著席〕
○服部委員長代理 チョット申上ゲマス、横山委員長ガ退席サレマシタカラ私ガ代理ヲ致シマス

○上田委員 第一ノ點ハ仰セノ通り當局カラ縷々御説明ガアリマシテ、大體分ッテ居ル、分ッテ居ルガ、私ノ申スノハ政府當局ノ御決心ガ、詰リ將來ニ於テ尙之ヲ一歩進メテ行クト云フ前提ノ下ニ之ヲ御出シニナツタノデアアルカドウカト云フコトヲ聽イタノデ、是ハ將來ニ大キナ影響ガアル問題デアルシ、ノミナラズ今言論機關ニ於テモ一般ノ輿論ニ於テモ、此刑事補償法ガ出テ居ルノヲ國家賠償法ガ出テ居ルカノ如ク多クノ期待ヲ持ッテ迎ヘテ居ル次第デアリマスカラ、御説明ハ縷々伺ッテ存ジテ居リマス、併ナガラ他ノ一面ニ於テハ——洵ニ失禮ナ言分デアリマスガ、

頗ル曖昧ナ言葉ヲ以テ國家ハ不法行爲ヲ認メナイノデアルカラ、サウ云フ程度ノモノハ之ヲ取ラナイノデアル、要スルニ是ハ國家ノ同情慰藉ト云フ趣旨ニ外ナラヌト云フコトヲ重ネテ御斷リニナツテ居リマスカラ、ソレデ私ハ此點ヲ特ニ念ヲ入レテ、是ハ將來國家補償法ニ進ム第一ノ階段デアルノデハナイカト云フ疑問ヲ明カニシタイト云フ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、併シ今、後段ノ御説明デ司法大臣ノ色々仰シヤツタ事カラ、段々質問スレバスル程ニ一步御進メ下サツタコトヲ私ハ感謝シテ置キマス

ソレカラ第二ノ公告ノ點、私ハ此間チヨット失禮シマシタカラサウ云フ質問が出タコトヲ知ラナカッタノデ、重複スルヤウナ點ガアツタノハ恐縮デアリマスガ、併シ今ノ御説明デモ尙ホ少シ満足出來ナイノハ、二重ニナル、既ニ再審ノ場合ニ於テハサウ云フ公告ヲスルコトニナツテ居ルノデアアルカラ二重ニナルト仰シヤルケレドモ、本法適用ノ範圍ハ再審ノ場合バカリデナイノデアアルカラ、二重ニナラヌ場合モ含マレテ居ル、ドウモ今ノ御説明ハ如何カト思フ、二重ニナラヌ場合モ現ニアルノデアリマス、ソレヲドウナサルカト云フコト、ソレカラ次ニ費用ガ掛ル、ソレ程費用ヲ掛ケテヤル程ノコトデハ

ナイト仰シヤツタヤウデアリマスケレドモ、是ハ私ハ甚ダ當ヲ得ヌデハナイカト思フ、既ニ御説明ガアツタ如ク、是ハ著シキ不名譽或ハ著シキ身體上ノ苦痛ヲ與ヘタ者ニ對シテ慰藉ノ方法ヲ講ズルト云フコトヲ御説明ニナツテ居ル、所ガ相當ノ身分ノ者ガ一日五圓以内ノ補償ヲ得マシタ所デ是ガ本當ニ慰藉ノ方法ニモ何ニモナルモノデハナイ、サウ云フ金額ヲ頂戴スルト云フコトハ慰藉ニモ何ニモナラヌ、又實際今日相當ノ生活ヲシ——裕デナクテモ刑事被告人トナル以上ハ、實際問題カラ言ウテモカナリ多額ノ金ヲ、差入デアルトカ、辯護士ニ對スル費用ト云フモノニ對シテ掛ケテ居ル、デアリマスカラ、僅ニ一日五圓以内ノ補償ヲ受ケタ所ガソレガ金錢ノ補償ニナルモノデモ何デモナイ、又政府當局モ御述ニナツテ居ル如ク、民法ノ損害賠償ト云フ意味デハナイト云フコトヲ前提トシテ御認ニナツテ居ル、斯ウ云フ状態デアツテ見マズレバ、寧ロ是ハ對世間的ニ關係ガアル、斯ウ云フ不名譽ヲ被ツタケレドモ、實際ハ無罪ニナツタ、免訴ニナツタト云フコトヲ一般ニ知ラシメルコトガ必要デハナイカ、然ルニ政府委員ハ既ニ判決ノ結果ガ新聞等ニ依ツテ報ゼラレルカラソレデ分ルデヤナイカト仰シヤルカモ知ラヌケレドモ、既ニ政府自身ガ

サウ云フ事ヲ新聞ニ向ツテ公告スルト云フコトガアツテ、サウシテソレヲ更ニ其被疑者ガ擴大シテ世間ニ知ラセ、或ハ挨拶狀ヲ出ストカ自分ノ費用デ新聞ニ公告スルト云フコトモ宜イガ、政府自ラガサウ云フヤウナ公告ヲ出スト云フコトガ大キナ慰藉方法デハナイカト思フ、デアリマスカラ斯ウ云フコトハ餘リ費用ト比較シテ見テ左程必要ナモノデナイト云フヤウナ言葉ノヤウニ拜聽致シマシタケレドモ、ソレハドウモラバ寧ロ金錢上ノ實際ノ損害ヲ賠償スルト云フナラソレデ宜シイガ、サウデナク所謂國家ノ爲シタ過失ニ對スル慰藉ト云フコトデ來テ居ルト云フモノデアリマスナラバ、ソレハヤハリ自ラ政府カラ公告シテ貰フト云フコトガ餘程被疑者ニ取ツテ大キナ慰藉方法ニナルノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマスガ、此點ニ對シマシテモウ一遍御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラ次ニ十條ノ檢事ノ意見ヲ聽クト云フコト、之ニ對シテ今ノ御答辯ニ依リマスト云フト、既ニ裁判ニシタラドウカト云フ意見スラアルノデアアルカラ、其場合ニハ檢事ノ意見ヲ聽クコトハ當然デアアルカラ、ダカラ決定ノ場合ニ於テ檢事ノ意見ヲ聽イテモ宜イデヤナイカト云フ話ガアリマシタガ、私ハサウ云フ曖昧ナル、

間ノ折合ヲ取ツタヤウナ意味ノ行キ方ガイカヌノダト云フコトヲ申シタ、裁判ナラ裁判、是ハ檢事ノ意見ヲ聽カケレバナリマセヌシ、サウ云フコトモ宜イノデアリマスケレドモ、十條ノ規定ノヤウニシテ決定ニ依ツテヤルト云フコトデアアルナラバ、寧ロ檢事ノ意見ヲ聽イテ從來色々ト弊害ノアルコトヲ實際上考ヘテ見タ場合ニ於テハ、サウ云フ決定ト云フ簡單ナ手續デオヤリニナル以上ハ、檢事ノ意見ヲ寧ロ聽カヌ方ガ宜イデハナイカト云フコトヲ御聽シタノデアリマス

○泉ニ政府委員 公告ノ點ニ付キマシテハ結局是ハ遺憾ナガラ意見ノ相違デアルト申上ゲルヨリ外ナイカト思ヒマス、私モ勿論總テノ人が重複スルト云フコトハ御答シナカッタ、再審ノ場合ニハ重複スルカラ必要ガナイト云フコトヲ御答シタ、再審デナイ、通常ノ手續ノ場合ニハ重複ト云フコトニナラヌノデアアルガ、併ナガラ兎ニ角通常ノ手續ニ於テ無罪免訴ニナツテ、サウシテ補償ヲ與ヘルト云フ場合デアレバ、モウ補償ヲ與ヘラレルト云フコト、即チ補償ヲ給與スルト云フコトソレ自體ニ依ツテ、慰藉ト云フ言葉ヲ遣ヘバ慰藉ヲヤツテ居ルノデアアル、ソレ以上更ニ進ンデ公告スルト云フヤウナ所マデハ今ノ所デハヤラナイト云フ趣意デアルト申上

ゲタノデアリマス、又ソレハヤハリ將
來ノ問題トシテハ考ヘテ然ルベキダラ
ウト思ヒマスケレドモ、此法案デハ最
少限度ノ所カラ出發シテ行クト云フ積
リデヤッテ居リマス

ソレカラ檢事ノ意見ヲ聽クト云フコ
トニ付キマシテハ、是ハ刑事手續ノ續
キデアル、刑事手續ニ於テハ檢事ノ意
見ヲ聽クト云フコトハ是ハ一般ノ原則
ニナッテ居ルノデアリマスカラ、弊害ガ
アルト云フコトヲ御考ニナルコトモア
リマセウケレドモ、サウ必シモンレガ
弊害ガアルト云フ斷定ヲ私共ハ是認ス
ルコトハ出來ナイト思フ、ヤハリ檢事
ノ意見ヲ聽ク方ガ適當デアル、裁判所
ガソレニ拘束サレルモノナラバソレハ
考ヘ物デアリマスケレドモ、拘束サレ
ルモノデハナイノデアルカラ、普通一
般ノ刑事手續ノ原則ニ從ッテ檢事ノ意
見ヲ聽カセル方ガ適當デアルト云フ趣
意デ是ハ出來テ居ルノデ、御意見ニ對
シテハ意見ノ相違タルヲ遺憾トスルト
云フコトヲ申上ゲルヨリ仕方ガナイ

見ヲ聽クト云フ問題デスガ、是ハ檢事
ノ意見ヲ聽イテモ從來弊害ガナイト云
フヤウナ御話ノヤウデアッタト拜承致
シマスケレドモ、ドウモ私ハ實際問題
カラサウ云フヤウニ思ハナイ、保釋ノ
場合ナドモ、檢事ノ意見ハ意見デアッ
テ、決定スル判事ハ判事デ行ケバ宜イ
ノデアリマスケレドモ、實際ハ檢事ガ
保釋ニ對シテ反對シタ場合ニ其反對ヲ
押切ッテ判事ガ保釋ヲ許シタト云フコ
トハ殆ド私ハ例ガ少イト思フノデアリ
マス、デアリマスカラ是ハ實際司法當
局デハ、殊ニ堪能ナ泉ニ政府委員ト致
シマシテ、サウ云フコトハ既ニ能ク御
知リニナッテ居ルコト、思ヒマス、隨テ
檢事ノ意見ヲ聽クト云フコトハ、成程
從來刑事手續ニ於テハ總テノコトガサ
ウ云フコトニナッテ居リマセウガ、併シ
此法律ハ從來ノ總テノ刑事法律ノ中ニ
於テ新紀元ヲ劃スルモノデアリマスカ
ラ、從來ノサウ云フコトニ泥ム必要ハ
毫モ私ハナイト思フ、泥ム必要ガナイ
ト考ヘルナラバ、一旦無罪ニナリ免訴
ニナッテシマッタモノヲ、又更ニ弊害ノ
起ルヤウナ、サウ云フ舊來ノコトニ泥
ンデ行ク必要ハ毫モナイノヂヤナイカ
ト思フ、デアリマスカラ、檢事ノ意見
ヲ聽クト云フコトニ對シマシテハ、實
際一例ヲ擧ゲルト云フト、保釋ノ場合
ナド、モウ少シ御考ヘニナル必要ガア
ルノデハナイカト思ヒマスカ、ドウデ
スカ

○泉ニ政府委員 保釋ノ場合ニ付テノ
御説明ガアリマシタガ、保釋ニ付テ裁
判所ガ檢事ノ意見ニ實質ニ於テ拘束サ
レルヤウナ状態デアルト云フコトハ、
サウヒドク之ヲ斷定スルコトハ勿論出
來ナイト思ヒマス、場合ニ依ッテハ絶無
トハ申スコトハ出來ナイカモ知レマセ
ヌガ、兎ニ角サウヒドクソレヲ心配ス
ベキ事實ハナイト思フノデスケレド
モ、又一方カラ考ヘテ見マスト云フト、
保釋ノ場合ニ付テハ詰リ證據湮滅デア
ルトカ、逃亡ノ虞ガアルトカ云フ場合
ニ限ッテ勾留ヲシテ置ク、其虞ガナケレ
バ保釋ヲ許ス、斯ウ云フコトガ法律ノ
建前ニナッテ居ルノデアリマスカラ、サ
ウ云フ判斷スルニ付テハ檢事ガ能ク
事實ノ經過ヲ知ッテ居ルカラ、裁判所ガ
相當ニ檢事ノ意見ニ重キヲ置クト云フ
コトハ、是ハ一般的ニ考ヘテモ又有リ
得ルコトデモアラウト思ハレル、ケレ
ドモ此刑事補償ノ問題ニ付キマシテ
ハ、サウ云フ保釋ノ場合トハ全ク趣ガ
違フノデアリマシテ、若シ弊害ヲ虞レ
ラレルナラバ檢事ノ顔ヲ立テル爲ニ遠
慮ヲスルヤウニナルカラト云フ御心配
デアアルカモ知レマセスケレドモ、ソコ
ハ保釋ノ場合ト同一ニ之ヲ御心配ニナ
ル必要ハナイダラウト思ヒマス、此法
律ノ運用ニ付キマシテハ、何レ又愈此
法律ヲ實施スル際ニ司法官會議モ行ハ
レマスシ、此委員會アタリデ皆サンノ
御心配ニナッテ點ハ能ク之ヲ知ラセテ
置クト云フコトニ依ッテモ、相當ニ運用
ニ付テノ注意ヲ促スコトハ出來ルト思
フノデアリマス

○上田委員 度々繰返シヤウデアリマ
スカ、公告ノ點ハ他ノ關係モアリマス
カラ、私ノ言フコトガ實際ハ貧者ニ取ッ
テハ希望シテ居ルノデアルト信ジマス
ケレドモ、併ナガラ最少限度カラ進メ
ルト云フ御話デアリマスカラ、其程
度デ打切りマスガ、併シ今ノ檢事ノ意

見ヲ聽クト云フ問題デスガ、是ハ檢事
ノ意見ヲ聽イテモ從來弊害ガナイト云
スカ

○泉ニ政府委員 保釋ノ場合ニ付テノ
御説明ガアリマシタガ、保釋ニ付テ裁
判所ガ檢事ノ意見ニ實質ニ於テ拘束サ
レルヤウナ状態デアルト云フコトハ、
サウヒドク之ヲ斷定スルコトハ勿論出
來ナイト思ヒマス、場合ニ依ッテハ絶無
トハ申スコトハ出來ナイカモ知レマセ
ヌガ、兎ニ角サウヒドクソレヲ心配ス
ベキ事實ハナイト思フノデスケレド
モ、又一方カラ考ヘテ見マスト云フト、
保釋ノ場合ニ付テハ詰リ證據湮滅デア
ルトカ、逃亡ノ虞ガアルトカ云フ場合
ニ限ッテ勾留ヲシテ置ク、其虞ガナケレ
バ保釋ヲ許ス、斯ウ云フコトガ法律ノ
建前ニナッテ居ルノデアリマスカラ、サ
ウ云フ判斷スルニ付テハ檢事ガ能ク
事實ノ經過ヲ知ッテ居ルカラ、裁判所ガ
相當ニ檢事ノ意見ニ重キヲ置クト云フ
コトハ、是ハ一般的ニ考ヘテモ又有リ
得ルコトデモアラウト思ハレル、ケレ
ドモ此刑事補償ノ問題ニ付キマシテ
ハ、サウ云フ保釋ノ場合トハ全ク趣ガ
違フノデアリマシテ、若シ弊害ヲ虞レ
ラレルナラバ檢事ノ顔ヲ立テル爲ニ遠
慮ヲスルヤウニナルカラト云フ御心配
デアアルカモ知レマセスケレドモ、ソコ
ハ保釋ノ場合ト同一ニ之ヲ御心配ニナ
ル必要ハナイダラウト思ヒマス、此法

○上田委員 モウ是デシマヒマスガ、
私等ハ今泉ニサンノ言ハレルノトハ實
際問題ガ少シ違ッテ居リハセスカト思
フノデアリマス、寧ロ私等ノ考デハ檢
事局ト裁判所ト云フモノハ全然別箇ノ
モノデアアルニモ拘ラズ、實際ハアノ一
ツノ建物ノ中ニ檢事局ト裁判所ガアッ
テ、サウシテアノ豫審判事ナリ公判判
事ト檢事ガ度々顔ヲ合セテ居ル、食堂
デ飯ヲ食フト云フコトナドモ私共ハ
弊害ガアルト思ヒマス、ソレデ一緒ニ
居ッテモ差支ナイヂヤナイカト御考ニ
ナルカモ知レマセスケレドモ、事實ハ
サウデナイヤウニ思ヒマス、大キナ裁
判所デナクテ、小サナ地方ノ裁判所ト
云フヤウナ場合ニ於テハ尙ホ私ハ此弊
害ガ多イノヂヤナイカ、不知不識ノ中
ニ檢事ノ色々ナ意見ニ豫審判事ナリ公
判判事ガ引摺ラレテ行クヤウナコトガ
澤山アル、デアリマスカラ、寧ロ私等
ノ考カラ言ヘバ、建物デストラモ全然別
ニシテ欲シイト云フ位ニ考ヘテ居ル際
デアリマスカラ、此補償法ノ問題デモ

度デ打切りマスガ、併シ今ノ檢事ノ意

見ヲ聽クト云フ問題デスガ、是ハ檢事
ノ意見ヲ聽イテモ從來弊害ガナイト云
スカ

○泉ニ政府委員 保釋ノ場合ニ付テノ
御説明ガアリマシタガ、保釋ニ付テ裁
判所ガ檢事ノ意見ニ實質ニ於テ拘束サ
レルヤウナ状態デアルト云フコトハ、
サウヒドク之ヲ斷定スルコトハ勿論出
來ナイト思ヒマス、場合ニ依ッテハ絶無
トハ申スコトハ出來ナイカモ知レマセ
ヌガ、兎ニ角サウヒドクソレヲ心配ス
ベキ事實ハナイト思フノデスケレド
モ、又一方カラ考ヘテ見マスト云フト、
保釋ノ場合ニ付テハ詰リ證據湮滅デア
ルトカ、逃亡ノ虞ガアルトカ云フ場合
ニ限ッテ勾留ヲシテ置ク、其虞ガナケレ
バ保釋ヲ許ス、斯ウ云フコトガ法律ノ
建前ニナッテ居ルノデアリマスカラ、サ
ウ云フ判斷スルニ付テハ檢事ガ能ク
事實ノ經過ヲ知ッテ居ルカラ、裁判所ガ
相當ニ檢事ノ意見ニ重キヲ置クト云フ
コトハ、是ハ一般的ニ考ヘテモ又有リ
得ルコトデモアラウト思ハレル、ケレ
ドモ此刑事補償ノ問題ニ付キマシテ
ハ、サウ云フ保釋ノ場合トハ全ク趣ガ
違フノデアリマシテ、若シ弊害ヲ虞レ
ラレルナラバ檢事ノ顔ヲ立テル爲ニ遠
慮ヲスルヤウニナルカラト云フ御心配
デアアルカモ知レマセスケレドモ、ソコ
ハ保釋ノ場合ト同一ニ之ヲ御心配ニナ
ル必要ハナイダラウト思ヒマス、此法

○上田委員 モウ是デシマヒマスガ、
私等ハ今泉ニサンノ言ハレルノトハ實
際問題ガ少シ違ッテ居リハセスカト思
フノデアリマス、寧ロ私等ノ考デハ檢
事局ト裁判所ト云フモノハ全然別箇ノ
モノデアアルニモ拘ラズ、實際ハアノ一
ツノ建物ノ中ニ檢事局ト裁判所ガアッ
テ、サウシテアノ豫審判事ナリ公判判
事ト檢事ガ度々顔ヲ合セテ居ル、食堂
デ飯ヲ食フト云フコトナドモ私共ハ
弊害ガアルト思ヒマス、ソレデ一緒ニ
居ッテモ差支ナイヂヤナイカト御考ニ
ナルカモ知レマセスケレドモ、事實ハ
サウデナイヤウニ思ヒマス、大キナ裁
判所デナクテ、小サナ地方ノ裁判所ト
云フヤウナ場合ニ於テハ尙ホ私ハ此弊
害ガ多イノヂヤナイカ、不知不識ノ中
ニ檢事ノ色々ナ意見ニ豫審判事ナリ公
判判事ガ引摺ラレテ行クヤウナコトガ
澤山アル、デアリマスカラ、寧ロ私等
ノ考カラ言ヘバ、建物デストラモ全然別
ニシテ欲シイト云フ位ニ考ヘテ居ル際
デアリマスカラ、此補償法ノ問題デモ

度デ打切りマスガ、併シ今ノ檢事ノ意

見ヲ聽クト云フ問題デスガ、是ハ檢事
ノ意見ヲ聽イテモ從來弊害ガナイト云
スカ

○泉ニ政府委員 保釋ノ場合ニ付テノ
御説明ガアリマシタガ、保釋ニ付テ裁
判所ガ檢事ノ意見ニ實質ニ於テ拘束サ
レルヤウナ状態デアルト云フコトハ、
サウヒドク之ヲ斷定スルコトハ勿論出
來ナイト思ヒマス、場合ニ依ッテハ絶無
トハ申スコトハ出來ナイカモ知レマセ
ヌガ、兎ニ角サウヒドクソレヲ心配ス
ベキ事實ハナイト思フノデスケレド
モ、又一方カラ考ヘテ見マスト云フト、
保釋ノ場合ニ付テハ詰リ證據湮滅デア
ルトカ、逃亡ノ虞ガアルトカ云フ場合
ニ限ッテ勾留ヲシテ置ク、其虞ガナケレ
バ保釋ヲ許ス、斯ウ云フコトガ法律ノ
建前ニナッテ居ルノデアリマスカラ、サ
ウ云フ判斷スルニ付テハ檢事ガ能ク
事實ノ經過ヲ知ッテ居ルカラ、裁判所ガ
相當ニ檢事ノ意見ニ重キヲ置クト云フ
コトハ、是ハ一般的ニ考ヘテモ又有リ
得ルコトデモアラウト思ハレル、ケレ
ドモ此刑事補償ノ問題ニ付キマシテ
ハ、サウ云フ保釋ノ場合トハ全ク趣ガ
違フノデアリマシテ、若シ弊害ヲ虞レ
ラレルナラバ檢事ノ顔ヲ立テル爲ニ遠
慮ヲスルヤウニナルカラト云フ御心配
デアアルカモ知レマセスケレドモ、ソコ
ハ保釋ノ場合ト同一ニ之ヲ御心配ニナ
ル必要ハナイダラウト思ヒマス、此法

○上田委員 モウ是デシマヒマスガ、
私等ハ今泉ニサンノ言ハレルノトハ實
際問題ガ少シ違ッテ居リハセスカト思
フノデアリマス、寧ロ私等ノ考デハ檢
事局ト裁判所ト云フモノハ全然別箇ノ
モノデアアルニモ拘ラズ、實際ハアノ一
ツノ建物ノ中ニ檢事局ト裁判所ガアッ
テ、サウシテアノ豫審判事ナリ公判判
事ト檢事ガ度々顔ヲ合セテ居ル、食堂
デ飯ヲ食フト云フコトナドモ私共ハ
弊害ガアルト思ヒマス、ソレデ一緒ニ
居ッテモ差支ナイヂヤナイカト御考ニ
ナルカモ知レマセスケレドモ、事實ハ
サウデナイヤウニ思ヒマス、大キナ裁
判所デナクテ、小サナ地方ノ裁判所ト
云フヤウナ場合ニ於テハ尙ホ私ハ此弊
害ガ多イノヂヤナイカ、不知不識ノ中
ニ檢事ノ色々ナ意見ニ豫審判事ナリ公
判判事ガ引摺ラレテ行クヤウナコトガ
澤山アル、デアリマスカラ、寧ロ私等
ノ考カラ言ヘバ、建物デストラモ全然別
ニシテ欲シイト云フ位ニ考ヘテ居ル際
デアリマスカラ、此補償法ノ問題デモ

度デ打切りマスガ、併シ今ノ檢事ノ意

見ヲ聽クト云フ問題デスガ、是ハ檢事
ノ意見ヲ聽イテモ從來弊害ガナイト云
スカ

○泉ニ政府委員 保釋ノ場合ニ付テノ
御説明ガアリマシタガ、保釋ニ付テ裁
判所ガ檢事ノ意見ニ實質ニ於テ拘束サ
レルヤウナ状態デアルト云フコトハ、
サウヒドク之ヲ斷定スルコトハ勿論出
來ナイト思ヒマス、場合ニ依ッテハ絶無
トハ申スコトハ出來ナイカモ知レマセ
ヌガ、兎ニ角サウヒドクソレヲ心配ス
ベキ事實ハナイト思フノデスケレド
モ、又一方カラ考ヘテ見マスト云フト、
保釋ノ場合ニ付テハ詰リ證據湮滅デア
ルトカ、逃亡ノ虞ガアルトカ云フ場合
ニ限ッテ勾留ヲシテ置ク、其虞ガナケレ
バ保釋ヲ許ス、斯ウ云フコトガ法律ノ
建前ニナッテ居ルノデアリマスカラ、サ
ウ云フ判斷スルニ付テハ檢事ガ能ク
事實ノ經過ヲ知ッテ居ルカラ、裁判所ガ
相當ニ檢事ノ意見ニ重キヲ置クト云フ
コトハ、是ハ一般的ニ考ヘテモ又有リ
得ルコトデモアラウト思ハレル、ケレ
ドモ此刑事補償ノ問題ニ付キマシテ
ハ、サウ云フ保釋ノ場合トハ全ク趣ガ
違フノデアリマシテ、若シ弊害ヲ虞レ
ラレルナラバ檢事ノ顔ヲ立テル爲ニ遠
慮ヲスルヤウニナルカラト云フ御心配
デアアルカモ知レマセスケレドモ、ソコ
ハ保釋ノ場合ト同一ニ之ヲ御心配ニナ
ル必要ハナイダラウト思ヒマス、此法

○上田委員 モウ是デシマヒマスガ、
私等ハ今泉ニサンノ言ハレルノトハ實
際問題ガ少シ違ッテ居リハセスカト思
フノデアリマス、寧ロ私等ノ考デハ檢
事局ト裁判所ト云フモノハ全然別箇ノ
モノデアアルニモ拘ラズ、實際ハアノ一
ツノ建物ノ中ニ檢事局ト裁判所ガアッ
テ、サウシテアノ豫審判事ナリ公判判
事ト檢事ガ度々顔ヲ合セテ居ル、食堂
デ飯ヲ食フト云フコトナドモ私共ハ
弊害ガアルト思ヒマス、ソレデ一緒ニ
居ッテモ差支ナイヂヤナイカト御考ニ
ナルカモ知レマセスケレドモ、事實ハ
サウデナイヤウニ思ヒマス、大キナ裁
判所デナクテ、小サナ地方ノ裁判所ト
云フヤウナ場合ニ於テハ尙ホ私ハ此弊
害ガ多イノヂヤナイカ、不知不識ノ中
ニ檢事ノ色々ナ意見ニ豫審判事ナリ公
判判事ガ引摺ラレテ行クヤウナコトガ
澤山アル、デアリマスカラ、寧ロ私等
ノ考カラ言ヘバ、建物デストラモ全然別
ニシテ欲シイト云フ位ニ考ヘテ居ル際
デアリマスカラ、此補償法ノ問題デモ

度デ打切りマスガ、併シ今ノ檢事ノ意

見ヲ聽クト云フ問題デスガ、是ハ檢事
ノ意見ヲ聽イテモ從來弊害ガナイト云
スカ

○泉ニ政府委員 保釋ノ場合ニ付テノ
御説明ガアリマシタガ、保釋ニ付テ裁
判所ガ檢事ノ意見ニ實質ニ於テ拘束サ
レルヤウナ状態デアルト云フコトハ、
サウヒドク之ヲ斷定スルコトハ勿論出
來ナイト思ヒマス、場合ニ依ッテハ絶無
トハ申スコトハ出來ナイカモ知レマセ
ヌガ、兎ニ角サウヒドクソレヲ心配ス
ベキ事實ハナイト思フノデスケレド
モ、又一方カラ考ヘテ見マスト云フト、
保釋ノ場合ニ付テハ詰リ證據湮滅デア
ルトカ、逃亡ノ虞ガアルトカ云フ場合
ニ限ッテ勾留ヲシテ置ク、其虞ガナケレ
バ保釋ヲ許ス、斯ウ云フコトガ法律ノ
建前ニナッテ居ルノデアリマスカラ、サ
ウ云フ判斷スルニ付テハ檢事ガ能ク
事實ノ經過ヲ知ッテ居ルカラ、裁判所ガ
相當ニ檢事ノ意見ニ重キヲ置クト云フ
コトハ、是ハ一般的ニ考ヘテモ又有リ
得ルコトデモアラウト思ハレル、ケレ
ドモ此刑事補償ノ問題ニ付キマシテ
ハ、サウ云フ保釋ノ場合トハ全ク趣ガ
違フノデアリマシテ、若シ弊害ヲ虞レ
ラレルナラバ檢事ノ顔ヲ立テル爲ニ遠
慮ヲスルヤウニナルカラト云フ御心配
デアアルカモ知レマセスケレドモ、ソコ
ハ保釋ノ場合ト同一ニ之ヲ御心配ニナ
ル必要ハナイダラウト思ヒマス、此法

○上田委員 モウ是デシマヒマスガ、
私等ハ今泉ニサンノ言ハレルノトハ實
際問題ガ少シ違ッテ居リハセスカト思
フノデアリマス、寧ロ私等ノ考デハ檢
事局ト裁判所ト云フモノハ全然別箇ノ
モノデアアルニモ拘ラズ、實際ハアノ一
ツノ建物ノ中ニ檢事局ト裁判所ガアッ
テ、サウシテアノ豫審判事ナリ公判判
事ト檢事ガ度々顔ヲ合セテ居ル、食堂
デ飯ヲ食フト云フコトナドモ私共ハ
弊害ガアルト思ヒマス、ソレデ一緒ニ
居ッテモ差支ナイヂヤナイカト御考ニ
ナルカモ知レマセスケレドモ、事實ハ
サウデナイヤウニ思ヒマス、大キナ裁
判所デナクテ、小サナ地方ノ裁判所ト
云フヤウナ場合ニ於テハ尙ホ私ハ此弊
害ガ多イノヂヤナイカ、不知不識ノ中
ニ檢事ノ色々ナ意見ニ豫審判事ナリ公
判判事ガ引摺ラレテ行クヤウナコトガ
澤山アル、デアリマスカラ、寧ロ私等
ノ考カラ言ヘバ、建物デストラモ全然別
ニシテ欲シイト云フ位ニ考ヘテ居ル際
デアリマスカラ、此補償法ノ問題デモ

私ハサウ云フヤウナ弊害ガ出テ來ヤセ
ヌカト思フゾデアリマス、サウ云フヤ
ウナ心配ハナイデセウカ

○泉二政府委員

是ハ補償法ノ問題バ
カリデナク、刑事事件ヲ有罪トスルカ
無罪トスルカ、ソレカラ其刑ヲドウ云
フ風ニ量定スルカト云フコトニ付テ
モ、一般的ニ今ノ御心配ハ心配ダト云
ヘバ、ドウモ心配セザルヲ得ナイコト
ニナルカモ知レマセスケレドモ、サウ
云フ風ニ判事、裁判所ガ檢事カラ全ク
左右サレルモノトハ、私達ハ考ヘテ居
ナイゾデアリマス、世間デ考ヘマス程
ニ、サウ其裁判所ガ檢事ニ對シテ弱イ
モノデモナイト思ウテ居リマス

○斯波委員

私ノ御尋致シタイノハ無
辜ノ良民ノ死刑ノ執行ヲ受ケタ者ノ補
償デアリマス、私此刑事補償法ガ若シ
必要デアリトスレバ、最モ是ガ必要ナ
條項デヤナイカト思フ、斯様ナ無辜ノ
良民ガ死刑ノ執行ヲ受ケルト云フヤウ
ナコトハ、殆ド有リ得ベカラザル話デ
アリマスガ、今マデニ屢々アッタコトデ
アリマシテ、既ニ死刑ノ執行ヲ受ケタ
後ニ眞犯人ガ出テ來タト云フコトヲ、
私共度々聞イタコトデ、最モ遺憾ナコ
トダト思フゾデアリマス、之ニ對シテ
補償ヲスルコトニナリマスルナラバ、果
シテドノ位ノ補償ヲシタラバ精神的ノ
慰藉ニナルカ、本人ハ死ンデ居ルノデ

アリマスカラ、精神的ノ慰藉ト云フ言
葉ハ、此場合ハ使ヘナイヤウニ私ハ考ヘ
マスガ、唯遺族ニ對シテ補償ヲスルト
云フゾデアリマスルガ、其場合ニ此補
償法デハヤハリ當リ前ノモノト、特別ニ
拘留ニ因ル補償ノ外ニ裁判所ノ相當ト
認ムル補償金ヲ呈スルト云フコトニナッ
テ居リマス、此相當ト云フノハドウ云
フ程度ノ意味ノモノカ、唯當リ前ノ香
奠ノヤウナ意味デナイカト思フテ居ル
ノデアリマスガ、鐵道省ナドデハ鐵道
ノ轢殺サレタ者ニ對シテ賠償スルト云
フヤウナ場合ニハ、可ナリ多イ金額ヲ
拂ッテ居ル例モアルヤウデアリマス、

○泉二政府委員

御尤ナ御質問デアリ
マス、實ハ幸ニシテ日本ノ裁判デハ今
マデハ無辜ノ者デ死刑ニ處セラレ、即
チ後カラ眞犯人ガ出テ來テ、サウシテ
死刑ニ處セラレタ者ハ、無罪ノ者デア
タト云フヤウナ裁判ノ確定サレタ事實
ハナイゾデアリマス、此爲ニ豫算ヲ請
求スル際ニモ過去十年位ノ平均數ヲ標
準ニシマシテ計數ヲ出シタゾデアリマ

○泉二政府委員

御尤ナ御質問デアリ
マス、實ハ幸ニシテ日本ノ裁判デハ今
マデハ無辜ノ者デ死刑ニ處セラレ、即
チ後カラ眞犯人ガ出テ來テ、サウシテ
死刑ニ處セラレタ者ハ、無罪ノ者デア
タト云フヤウナ裁判ノ確定サレタ事實
ハナイゾデアリマス、此爲ニ豫算ヲ請
求スル際ニモ過去十年位ノ平均數ヲ標
準ニシマシテ計數ヲ出シタゾデアリマ

スガ、ソレニハ實ハ其死刑ニ處セラレタ
者ガ大審院デ無罪ニナッタト云フ實例
ハ一ツモナカッタゾデアリマス、此豫算
ニモサウ云フ場合ハ實際入ッテ居ラヌ
ノデアリマス、ソレカラ若シ不幸ニシテ
將來サウ云フコトガ出テ來レバ、サウ
シテ此豫算ガ足りナケレバ、其際補充
シテ貫フト云フヨリ外ニ仕様ガナイト
云フ位ニ考ヘテ居ルゾデアリマス、ソレ
カラ愈々不幸ニシテサウ云フ例ガ出テ來
タナラバドウスルカ、ソレハ單ニ不幸
ニシテ死刑ノ執行ヲ受ケタト云フコ
トニ對シテ相當ナ損害賠償ヲヤルト云
フコトニシマスト、只今御心配ニナリ
マシタヤウニ或ハ香奠程度ノモノヲヤ
ラレルト云フコトガ無キニシモアラ
ズト云フコトノ心配ガゴザイマスノ
デ、ソレデ本案デハサウ云フ場合ハ特ニ
五條ノ第三項ニ「死刑ノ執行ヲ受ケタ
ル者ノ遺族ニ對スル補償ニ於テハ拘留
ニ因ル補償ノ外裁判所ノ相當ト認ムル
補償金ヲ給與ス」ト斯ウ書イテアリマス
ガ、此死刑ノ執行ヲ受ケル者ハ裁判所
ガ確定シテカラ執行ヲ受ケルマデノ間、
相當長イ期間監獄ニ拘留サレテ居ルト
云フコトニナッテ居リマス、長イモノニ
ナリマスト一年トカ二年トカ云フヤウ
ナ拘留モアルゾデアリマス、其拘留日
數ニ對スル補償、ソレハ執行ニ因ル方
ノ補償デアリマスガ、其他ニ死刑ノ執

○泉二政府委員

行ヲ受ケタ者デアリマスレバ、何レ重
大ナ犯罪者デアリマスカラ、未決勾留
ガ隨分長ク續イテ居リマス、ソレデサ
ウ云フ場合ニハ五條ノ一項ニ依ル勾留
ニ因ル補償ヲ與ヘラレルゾデアリマ
ス、勾留ニ因ル補償ヲ與ヘ、ソレカラ
拘留ニ因ル補償モ與ヘル、其外尙ホ死
刑ノ執行ト云フ點ダケニ對シテ相當ノ
補償ヲ遣ルト云フコトニスレバ、斯ウ
云フコトニ對シテ香奠デハドウモ納マ
ラナイ——兎ニ角納マラナイ、勾留及
ビ拘留補償ト云フモノガ與ヘラレル、
ソレニ對シテ今度相當ノ補償ヲ尙ホ加
ヘルコトニナリマスガ、其相當ト云フ
標準モ曖昧ナ標準デアリマスケレド
モ、是ハ裁判所ニ任シテ置クヨリ外ニ
仕様ガナイゾデアリマシテ、人間ノ生
命ハ幾ラデアルト云フコトヲ法律デ定
メテ置ク譯ニハドウシテモ行キマセ
ス、ソレデ御承知ノ通り民法七百十一
條ノ民法上ノ保護ニ對スル損害賠償ニ
對シテモ「他人ノ生命ヲ害シタル者ハ
被害者ノ父母、配偶者及ビ子ニ對シテ
ハ其財產權ヲ害セラレザリシ場合ニ於
テモ損害ノ賠償ヲ爲スコトヲ要ス」ト
云フ斯ウ云フ規定ガアリマス、是ガ詰
リ不法行爲ニ因テ他人ノ生命ヲ奪ッ
タ場合ニハ、其遺族ニ對シテ慰藉料ヲ遣
タト云フ方法ニ依ル損害賠償ノ一例ニ
ナッテ居ル譯デアリマス、斯ウ云フ損害

ス

○春島委員 サウスルトヤハリ民法上ノ慰藉料ノ認定ニ對スル精神上ノ認定ト云フコトヲ斟酌スルト同ジヤウナ標準ト見テ宜イノデスカ

○泉ニ政府委員 ソレハ大體同ジコトニナルダラウト思ヒマス

○服部委員長代理 ソレデハ今日ハ是デ散會ヲシマシテ、十六日午前十時カラ引續イテ委員會ヲ開ク、斯ウ云フコトニ致シマス

午後零時十分散會

昭和六年二月十四日印刷

昭和六年二月十五日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社